

諫高同窓会々報

長崎県立諫早高等学校
同窓会事務局
TEL 22-1222・FAX 22-5104
<http://www.news.ed.jp/isahaya-h/>
編集 馬場 秀樹
印刷 諫早印刷株式会社
TEL 22-1350

平成三十年度を振り返って



同窓会々長 池田 光利
(高校二十回・昭和四十三年卒)

同窓会の皆様には、同窓会活動に深くご理解ご協力をいただき、厚く感謝申し上げます。

諫高陸上部駅伝女子は、昨年十一月二日の長崎県大会で、超高校級の

象校中二位で、健闘及ばず京都での全国大会への二十四年連続二十五回目の出場は、かないませんでした。

しかしながら、今年二月二日の長崎県高校新人駅伝大会では、全員区間賞での二年ぶり二十五回目の優勝を飾ってくれました。今年十一月の県大会で優勝し、年末京都の全国大会での活躍を期待したいと思います。

ところで、昨年三月卒業の全日制七十回卒の後

諫早高校の発展を期して



校長 原田 尚之

同窓会員の皆様には、平素より本校の教育活動にご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私、平成三十年度の人事異動により諫早高等学校の校長として赴任いたしました原田尚之と申します。どうぞよろしくお願ひします。

伝統を誇り輝かしい実績とともに世に有為な人材を数多く輩出してきた諫早高校に校長として拝命致しましたことは、身に余る光栄に存じますとともに、その重責の重さ

に身が引き締まる思いが致しております。平成六年度から平成十六年度までの十一年間、本校に教諭として勤めておりましたので、十三年ぶりの勤務となります。保護者の方々、また、同窓会の皆様には、温かく迎えていただき大変感謝していただきます。

さて、近年、グローバル化、ネット社会の進展、高度情報化に伴うAI(人工知能)により、世界的な規模で大きく社会が変化しようとしています。

す。世界は「激動の時代」を迎えています。そのような社会を生き抜くため、生徒たちには、自ら課題を見つけ他と協働して問題解決を図る力が求められており、本校の校訓「自立創造」のとおり、自分自身の力で人生を磨き、新しい価値観を創造していかなければなりません。

ここ数年本校においては、「グローバル講演会」「学校説明会」「文化祭」等で生徒が主体的に企画・運営できる環境を整えてきました。先生方の中にも始め不安な声もありましたが、「高校生でもここまでできる」という驚きとともに、学校の様々な活動が生徒の対話を土台とした主体的なものに生まれ変わりつつあ

ります。今後も学校活動の様々な局面で、生徒が主体的に企画・運営できる機会をできるだけ多く作り、対話を通じた多様性との出会いの中で生徒たちが大きく成長していくことを期待しているところです。

最後になりますが、会員の皆様の今後ますますのご発展とご健勝を祈念申し上げます。また、昨年、同窓会で整備いただいた御書院の池は、池底が見えるほど水質が良くなり、先日は幸運をもたらしすといわれている「カワセミ」をみることでできました。生徒ならびに教職員一同、大変感謝しています。帰郷の折には、是非、母校にお立ち寄りください。



評価を受けることは、私達同窓生にとって大変誇らしく、喜ばしいことです。今後も文武両道での活躍を願っています。

諫高同窓会の大きな課題の一つでした御書院池の堆積土の除去を三十年振りに実施しました。昨年四月二日から排水、五月一日から注水し、生徒会により鯉等を池に戻しました。業者に依頼し御書院池を干して、二トントラック二百十台分の水を含んだ土を搬出しました。



同窓会総会・懇親会の報告

平成三十年度の諫早高校同窓会ならびに懇親会は七月七日(土)、グランドパレス諫早において、開催されました。

総会では、まず池田光利会長のあいさつと今年度より諫早高校の校長に就任した原田尚之校長による学校の現況報告が行われました。議事では、前年度の事業と決算報告、本年度の事業計画と予算の審議が行われ、議案はすべて承認されました。また、議事終了後、御書院の池の模様がスライドショーで紹介され、池田会長からその説

明がありました。

引き続き、昨年度より、講演に代わって行われている現役諫高生による活動発表が行われました。

今年度はギターマンドリン部の演奏とコーラス部の合唱に加え、応援団の応援が披露されました。

諫高生らしい生き生きとしたステージ発表の姿に往時を思い出された同窓会員の方々も多かったのではないのでしょうか。すがすがしい雰囲気のか、総会を終了することができました。

続いて行われた懇親会では、幹事回生である全

日制二十六回、三十六回、四十六回生の方々が中心となつて進行していただきました。約百八十名の出席で高校時代を懐かしみ、友と語らう、楽しい場を設けていただき、ありがとうございました。

最後に二十六回生より校旗を引き継いだ二十七回生代表が来年の盛會を誓い、同窓会総会ならびに懇親会を締めくくりました。ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。次回のご参加も心よりお待ちしております。

関東支部総会

東京不知火会総会・懇親会は、例年六月第三土曜日に開催されます。今年第六十四回は、六月十六日(土)にザ・プリンスパークタワー東京中国料理陽明殿にて開催しました。

古賀賢治会長(二十三回生)挨拶、玉山三重子常任幹事(二十二回生)から会計報告、山口賢昌副会長(十七回生)による乾杯でいよいよ懇親会スタートです。上は八十代、下は三十代の約六十五名の同窓生が、そして諫早から池田光利同窓会会長(二十回生)・原田校長先生・卒業生でもある同窓会事務局や市職員ほか東京在住の市・県の職員方にもご出席頂き、部活動や出身中学など当時の思い出や母校の活躍、互いの近況を語り合い、先輩後輩の垣根を越えてこの日の出会いを大いに楽しみました。

森長の「黒おこし」や諫早自慢の日本酒「杵の川」の試飲に舌鼓を打ち、諫早を舞台にした映画「親戚たち」の制作案内や体操「内村航平」をコーティングした江島修様(二十回生)の思い出話に聴き入り、サッカーV・ファーレン長崎の観戦案内もあり、話題に尽きることない濃密な時間を共有しました。恒例の校歌斉唱を応援団出身の小柳栄一朗さん(三十九回生)のリードで大合唱し閉会となりました。

初めて参加した卒業生も多数いらっしゃいます。ぜひ、来年はさらにたくさんの方々に集まっていたきたいものです！

常任幹事 香田誠朗(三十七回生)



関西支部総会

平成最後の支部総会は十一月十八日「ホテルヴィスキオ尼崎」で開催されました。諫早から池田会長、中田副校長、馬場事務局長にご出席頂き総勢六十三名です。特筆すべきは本年卒業の若い二人が参加し、花を添えてくれたことです。

講演会では昭和三十七年から十七年間諫早高校に勤務された大石太先生から「諫早高校勤務の思い出」と題して懐かしい話を聞かせて頂きました。

懇親会はたっぷり三時間。諫早弁丸出しの会話が飛び交う楽しい時間でした。今までもまして多彩な「お楽しみプレゼント」、更にのんのの節の音頭で「皿踊り」、旧高女、旧中学、諫高の校歌、最後は「故郷」の合唱と盛り上がりました。

来年も十一月同窓会を予定しています。多くの参加者に楽しんで頂ける集いを目指し、今回アンケートもとらせて頂きました。またゴルフの「さいば会」ウォーキングの「あるかんば隊」活動も継続していきます。皆さん、お待ちしております。

関西支部長 真崎 宏



諫早高校同窓会 関西支部 総会・懇親会
平成30年11月18日(日) 於:ホテルヴィスキオ尼崎

中京支部総会

中京支部総会・懇親会を九月十五日、名古屋市の名鉄ニューグランドホテルにて開催いたしました。

今回は、猛暑を乗り越えた十九名と、本部より中田副校長先生ならびに池田同窓会本部会長にご臨席を賜り、総勢二十一名の諫高卒業生による会を開くことができました。三連休の初日に計画したことと、中京支部のマドンナの欠席や若い方々には都合が悪くという返事が多くあり、参加者の勧誘に苦労しました。

御書院紹介のDVDや池田会長の他支部の様子や中田副校長の母校の近況など懐かしさ感動の声が出るような会になりました。十一回卒田口豊太郎氏の名司会のおかげで、参加会員のスピーチも高校時代思い出や近況報告など頂き、笑いありと大変和やかなひと時でした。締めくくりは、校歌斉唱と前支部長宮崎京治氏による一本締めで、次回の再会を楽しみに終わることができました。

中京支部長 渡邊 豊



長崎支部総会

例年、秋の十一月に開催している支部総会・懇親会を、今回は、事務局の都合で新年会として開催したが、ほかの行事と重なったり、インフルエンザでキャンセルが出たりして、参加者が三十五人と、いつもよりやや少なかった。しかし、今回初めて参加した人も数名いて、長崎支部を盛り上げたいと、心強いメッセージもあった。池田同窓会長の話と、御書院の池がきれいになった映像に、在校当時の思い出話に花が咲いた。原田校長からは、去年は残念ながら女子駅伝の都大路出場が途切れたが、今年冬は必ず出場できるような頑張っているとの報告があり、大きな拍手が送られた。最後は、恒例の肩を組んでの「校歌斉唱」！ 今年は、秋に女子駅伝の激励を兼ねた支部総会を開催したいと願っている。

長崎支部長 河野 英雄



福岡圏支部総会

福岡圏支部第三回総会は、平成三十年七月二十八日、福岡市で開催されました。参加者は池田同窓会長、原田校長等の御来賓のほか、四回生から五十回生まで総勢百二十四名で、和やかに懇親を深めました。

毎年少しずつですが、参加者が増え続けています。

当日は、二十七回生の平野隆文さんによる居合道の演武と三十二回生の高橋和彦さんによるマンドリンの演奏を鑑賞しました。

ゴルフ、山歩き、囲碁の同好会もスタートしています。

第四回総会は、二〇一九年七月二十七日(土)の予定です。

諫早からの参加も歓迎です。

福岡圏支部長 前田 豊



2018（第70回卒業生）入試結果

国立大学				公立大学				私立大学			
名 称	70回生	既卒生	合計	名 称	70回生	既卒生	合計	名 称	70回生	既卒生	合計
茨 城 大	1		1	高 崎 経 済 大	1		1	獨 協 医 科 大		1	1
筑 波 大	2		2	前 橋 工 科 大	1		1	城 西 大	1		1
埼 玉 大	1		1	都 留 文 科 大	3		3	駒 澤 大	1		1
千 葉 大	2		2	大 阪 府 立 大	3		3	芝 浦 工 業 大	2		2
電 気 通 信 大	1		1	神 戸 市 外 国 語 大	1		1	上 智 大		1	1
東 京 大	6		6	兵 庫 県 立 大	1		1	中 央 大	1	3	4
東 京 学 芸 大	1		1	岡 山 県 立 大	3		3	津 田 塾 大	2		2
金 沢 大	1		1	県 立 広 島 大	2		2	帝 京 大		1	1
静 岡 大	1		1	山 口 東 京 理 科 大	3		3	東 京 理 科 大	1		1
名 古 屋 大	1		1	下 関 市 立 大	4		4	法 政 大	1	4	5
京 都 大	2		2	高 知 工 科 大	2		2	明 治 大	4		4
大 阪 大	8		8	北 九 州 市 立 大	3		3	立 教 大	1		1
大 阪 教 育 大	1		1	福 岡 女 子 大	2		2	早 稲 田 大	1		1
神 戸 大	1		1	福 岡 県 立 大	2		2	昭 和 音 楽 大	1		1
奈 良 女 子 大	1		1	長 崎 県 立 大	12		12	同 志 社 大	1		1
和 歌 山 大	1		1	熊 本 県 立 大	1		1	立 命 館 大	5	1	6
鳥 取 大		1	1	宮 崎 県 立 看 護 大	1		1	龍 谷 大	1		1
鳥 根 大	2		2	公 立 大 合 計	45	0	45	大 阪 薬 科 大	1		1
岡 山 大	4		4	国 公 立 大 合 計	213	11	224	関 西 大	1		1
広 島 大	9	3	12	国立大学医学部医学科				近 畿 大	2	4	6
山 口 大	8	1	9	名 称	70回生	既卒生	合計	四 天 王 寺 大	1		1
九 州 工 業 大	2	1	3	長 崎 大	4		4	関 西 学 院 大	1	1	2
九 州 大	21		21	佐 賀 大		1	1	神 戸 芸 術 工 科 大	2		2
福 岡 教 育 大	3	1	4	合 計	4	1	5	川 崎 医 科 大		1	1
佐 賀 大	7	1	8	専門学校				九 州 共 立 大	2		2
長 崎 大	47	2	49	名 称	70回生	既卒生	合計	九 州 産 業 大	6		6
熊 本 大	18		18	長 崎 医 師 会 附 看 護	6		6	久 留 米 大	5	1	6
大 分 大	2		2	佐 世 保 市 立 看 護	1		1	久 留 米 工 業 大	2		2
宮 崎 大	3		3	長 崎 医 師 会 看 護	1		1	産 業 医 科 大		1	1
鹿 児 島 大	9	1	10	北 九 州 看 護 大 学 校	1		1	西 南 学 院 大	12	3	15
鹿 屋 体 育 大	1		1	福 岡 カ レ ッ ジ オ プ ジ ャ	2		2	第 一 薬 科 大	1		1
琉 球 大	1		1	諫 早 コ ン プ ュ ー タ ー	1		1	筑 紫 女 学 園 大	1		1
国立大 合計	168	11	179	専 門 学 校 合 計	14		14	中 村 学 園 大	3		3
海外大学				就職				国 際 医 療 福 祉 大	1		1
名 称	70回生	既卒生	合計	名 称	70回生	既卒生	合計	福 岡 大	18	9	27
Herkimer College	1		1	長 崎 ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 学 院	2		2	福 岡 工 業 大	1	1	2
海外大学合計	1		1	婦 野 医 療 附 看 護	6		6	福 岡 歯 科 大	1		1
準大学				佐 世 保 市 立 看 護	1		1	純 真 学 園 大	1		1
名 称	70回生	既卒生	合計	長 崎 医 師 会 看 護	1		1	西 九 州 大	1		1
防 衛 大 学 校	1		1	北 九 州 看 護 大 学 校	1		1	長 崎 ウ エ ス レ ャ ン 大	1		1
水 産 大 学 校	1		1	福 岡 カ レ ッ ジ オ プ ジ ャ	2		2	活 水 女 子 大	15		15
準大学合計	2		2	諫 早 コ ン プ ュ ー タ ー	1		1	長 崎 純 心 大	9		9
				専 門 学 校 合 計	14		14	長 崎 経 合 科 学 大	4	2	6
								長 崎 国 際 大	1		1
								崇 城 大	3	1	4
								九 州 看 護 福 祉 大	1		1
								熊 本 保 健 科 学 大	1		1
								日 本 文 理 大		1	1
								別 府 大	1		1
								そ の 他	18	4	22
								私立大 合計	140	40	180

文化部			活動状況及び主な成績	
部・同好会名	部員数			
写 真	30		県高校総文祭写真展優良賞（九州総文祭出展）・優良賞3名、いさかんコンテスト最優秀賞・優秀賞・入選	
茶 道	13		長崎市民茶会、知足会（表千家研修会）への参加、緑陰茶会・文化祭・合同文化祭においてお手前披露など	
美 術	10		長崎県高総文祭 工芸部門優秀賞（全国大会推薦）・現代アート部門優秀賞・デザイン部門優良賞・絵画部門入選3名	
吹 奏 楽	45		九州吹奏楽コンクール県予選銀賞	
科 学	8		県高校総文祭科学研究発表大会口頭発表優秀賞・展示発表優良賞、サイエンスファイトクイズ大会2位	
パ ソ コ ン	14		県高総体のHP作成、体育大会集計作業、文化祭・合同文化祭での自作ソフトの展示など	
新 聞	4		文化祭・合同文化祭での展示	
英 語	6		文化祭・合同文化祭での展示、スピーチコンテストへの応募など	
ギター・マンドリン	45		県高校総合文化祭参加、長崎アニママンドリン合奏団定期演奏会参加、合同文化祭での発表など	
文 学	6		県文芸コンクール部誌部門 佳作・短歌部門佳作（九州総文祭推薦）、文化祭・合同文化祭での展示	
演 劇	3		中地区高校演劇発表会優秀賞、自主公演、文化祭・合同文化祭での発表	
放 送	17		NHK杯全国放送コンテスト長崎県大会アナウンス部門優秀賞・優良賞、朗読部門優秀賞2名、NHK杯全国放送コンテストアナウンス部門入選2名、九州高校放送コンテスト長崎県大会アナウンス部門優秀賞2名・優良賞、朗読部門優秀賞・優良賞2名、九州高校放送コンテスト九州大会アナウンス部門3位	
コ ー ラ ス	11		九州合唱コンクール県予選銀賞	
図 書	11		文化祭・合同文化祭での展示	
書 道	6		長崎県高等学校文化連盟書道部門揮毫大会書道部門優秀賞2名	

部 活 動

1. 部活動の入部状況（複数に籍含む）

在籍者に対する学年別入部率（％）

平成30年 5 月

	1 年	2 年	3 年	全学年
在 籍 数	281	276	274	831
体 育 部	192 （ 68％）	186 （67％）	183 （68％）	561 （68％）
文 化 部	97 （ 36％）	79 （29％）	73 （27％）	249 （30％）
計	289 （103％）	265 （96％）	256 （94％）	810 （97％）

2. 部員数及び活動状況（平成30年度）

部・同好会名		部員数	活動状況及び主な成績
陸 上	65	(団体)	県高校駅伝女子2位、九州高校駅伝女子6位、県新人駅伝女子優勝、高総体（団体総合）男子3位、女子3位
		(個男)	高総体 200m 5位、400m 6位、棒高跳1位、走り幅跳1位、4×100m R 1位、4×400m R 2位 新人戦 男子団体3位、個人100m 5位、200m 3・4位、400m 2位、800m 1位、棒高跳1位、やり投2位、4×100m R 2位、4×400m R 3位 九州新人戦 棒高跳1位、800m 4位、やり投8位
野 球	48	(個女)	高総体100m 1位、200m 3位、400m H 2位、3000m 1・3位、走り幅跳1位、三段跳2位、やり投4位、4×100m R 3位、4×400m R 5位 新人戦女子 団体4位、個人100m 1・5位、200m 2・3位、3000m 1・4位、三段跳3位、やり投3位、4×100m R 3位 九州新人戦 3000m 5位、三段跳8位
			九州地区高等学校野球長崎県大会2回戦敗退、NHK杯1回戦敗退
ソフトテニス男	11		高総体団体2回戦敗退、県新人戦団体2回戦敗退
ソフトテニス女	7		高総体団体2回戦敗退、県新人戦団体1回戦敗退
テニス男子	30		高総体団体ベスト8、ダブルスベスト8、県新人戦団体1回戦敗退
テニス女子	24		高総体団体3位、ダブルスベスト8、県新人戦団体2回戦敗退、全国選抜県大会ベスト8
バレー男子	26		高総体2回戦敗退、県新人戦2回戦敗退、県春季選手権大会3回戦敗退、県協会長杯ベスト4、全日本高校選手権県大会ベスト8
バレー女子	26		高総体1回戦敗退、県新人戦2回戦敗退、天草カップ2位グループ2位
バスケット男	27		高総体ベスト8、県新人戦2回戦敗退
バスケット女	26		高総体2回戦敗退、県新人戦2回戦敗退
卓 球 男 子	24		高総体団体2回戦敗退、県新人戦団体1回戦敗退
卓 球 女 子	10		高総体団体1回戦敗退、県新人戦団体2回戦敗退
剣 道 男 子	7		高総体団体予選リーグ敗退、県新人戦団体予選リーグ敗退
剣 道 女 子	6		高総体団体予選リーグ敗退、県新人戦団体予選リーグ敗退
柔 道	1		高総体団体戦不出場、県新人戦男子個人66kg以下級ベスト8
弓 道 男 子	32		高総体団体24位タイ、県新人戦団体16位タイ、中地区新人戦個人優勝
弓 道 女 子	22		高総体団体22位タイ、県新人戦団体12位タイ
バドミントン男	21		高総体団体2回戦敗退、県新人戦団体1回戦敗退
バドミントン女	24		高総体団体1回戦敗退、県新人戦団体2回戦敗退
ラ ゲ ビ ー	20		高総体2回戦敗退、県7人制大会2位トーナメント3位、全国大会県大会ベスト8、県新人戦（10人制）優勝
フェンシング	18		高総体男子団体準優勝、男子個人フルーレ4・6位、エペ1・2・3・4位、サーブル3・4位、高総体女子団体3位、女子個人フルーレ4・6位、エペ6位、サーブル3位、県新人戦男子団体エペ優勝、サーブル2位、フルーレ3位、男子個人フルーレ3位、県新人戦女子団体エペ2位、フルーレ3位
サ ッ カ ー	48		高総体1回戦敗退、県新人戦地区予選敗退、全国高校サッカー選手権大会長崎県大会2回戦敗退
ソフトボール	11		高総体3位、県新人戦1回戦敗退、全国選抜大会県予選3位
水 泳 同 好 会	14		高総体男子団体4位、女子団体8位、個人（男子200m背泳ぎ1位、100mバタフライ1位、200mバタフライ1位、100m背泳ぎ2位、1500m自由形3位など、女子200m個人メドレー3位など）、県新人戦個人（男子100mバタフライ1位、200mバタフライ1位、100m背泳ぎ1位、200m背泳ぎ2位、4×100mメドレーR2位など、女子800m自由形1位、200m個人メドレー2位など）
応 援	8		各大会や学校行事等における応援活動



平成三十一年一月二日、ホテルグランドパレス諫早にて六十九回生の成人同窓会を開催しました。来賓の先生方を含め、二百十一名の皆さんにご参加いただきました。多くの方々の助けがあつて式の開催・運営を行うことができました。この場を借りて御礼申し上げます。

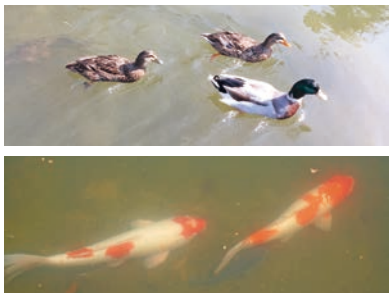
同窓会活動報告

友人・恩師とお酒を片手に思い出話や近況報告に花を咲かせ、楽しいひと時を過ごしました。次の同窓会では皆からどんな話が聞けるのか楽しみです。

六十九回生幹事
末永 翔太

御書院の今

御書院の池がきれいに
なりました。是非、ご来
訪ください。



定時制の現在

定時制
教頭 福田公彦
(三十一回生)

定時制は、一九四九(昭和二十四)年に開校され、今年度で創立七十周年を迎えました。これまでの卒業生は千五百名を超えています。

生徒数の推移を見てみると、創立九年目には、全校生徒が二百名を超えていました。新入生が五十七名であったようです。またこの年は諫早大水害の年でもありました。その後生徒は減り続け、昭和五十二年度には百名を初めて下回り、平成六年度には五十一名まで減りました。ちょうど経済が不況になった頃でもあります。その後徐々に生徒数は回復し、平成二十三年度までは百名程度の在籍数でしたが、そこをピークに、生徒は減少し、昨年度四十八名で初めて五十名を下回り、今年度の在籍数は四十九名です。多かった頃の十程度の生徒数です。開校当初は、経済的に

わかります。アルバイトがおもですが、の生徒が昼間働いています。

学校行事も昔から続いているもの、新しく始まったものなど様々です。六月には全日制の高総体にあたる定時制通信制体育大会長崎県予選大会が行われます。バスケット男子、卓球男女、バドミントン男女に参加しています。優勝すると全国大会へ進みますが、進出できないのが現状です。九月には二年に一度、バス遠足に出かけています。今年度は佐世保の海きらら水族館へ出かけました。十月には十年程前から文化祭を行っています。ステージや展示、食物バザーなど生徒も積極的に参加しています。十一月には、一九六三(昭和三十八)年から、島原高校・大村高校定時制と合同で中地区定時制体育大会を行っています。今年度で五十六回目になります。現在はフットサル、将棋、オセロといった競技も実施しています。これからも生徒の学び

直しの場として、さらに働くことを通して社会との懸け橋となれる定時制

を目指していきたいと思っています。

編集後記

漢検が発表した平成三十年の今年の漢字は「災」でした。頻発する自然災害や人災による不祥事への不安から選定されたと思われます。「平成」という時代もいよいよ終わりを告げますが、混沌の世界情勢、AIの発達による社会の変化と次の時代がどのような時代となるのか、予測がつきません。そのような中、本校には一世紀以上にわたって、時代に対応した有為な人材を輩出してきたという伝統があります。本校の卒業生がそれぞれの立場で、新しい時代を切り拓いていこうとするその「志」に新しい時代の希望を見出したいと思っています。

裏門で

下 釜 広 喜 (三十四回生)

シリーズ「おしどりの池」⑬

諫早高校附属中学校に赴任して二年が過ぎようとしている。これまで、大村市内の中学校勤務が多かったのですが、まさか母校が職場になるとは、という思いだ。

私は中学校の生徒指導担当ということもあり、

交通量はわりと多く、車がスピードをあげて生徒の目の前を通過することもあり、本当にヒヤリとする。また、生徒も周りを確かめず、横断しようとして、走行している車に迷惑をかけることもある。そんな様子を見ながら、どうか事故が起きないようにと願い、黄色い旗を振っている。諫高生、諫高附属中の安全を心から願っている。



夢のスタートライン

牟 田 真奈美 (六十二回生)

諫早高校を卒業して八年となる昨年四月に母校に教師として着任して一年が経とうとしている。高校の地理の教師になるということは、高校時代からの夢であった。そして、諫早高校を卒業する頃には、母校で働くことも大きな夢の一つとなっていた。その夢がこんな

にも早く実現するとは思いません。諫早高校着任の内示を頂いた時には、驚きを隠すことはできなかった。

私も自身も卒業後も母校が大好きである。なぜかと問われると明確な答えは見つからないが、とにかく密度が濃い時間を過ごしたからだろう。学習、部活、友人、先生、どれを挙げても様々な記憶がよみがえってくる。今後は後輩が充実した学校生活を送る手助けをする番である。母校で勤務する嬉しさを胸に、微力ではあるが尽力していきたい。



バス遠足より

今回の会報におきまして、本校の現況や各回・支部のさまざまな活動を掲載させていただきました。原稿執筆や情報提供をいただきました皆様方、本当にありがとうございます。また、本年度も様々な学校行事の開催にあたり、同窓会生の方々をはじめ、地域の方々など非常に多くの方にお力添えをいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

「文武両道」の校是のもと、来年度も本校のさらなる躍進のため今後とも教職員一同、一枚岩となつて、努めて参りたいと存じます。最後になりますが、同窓会会報をこ一読いただき、母校に思いを寄せていただければ幸いです。